

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索



5月23日、東京社保協国会議員要請行動を163人の参加で行いました。東京選出議員に「『一体改革』撤回、社会保障の充実」を求め要請を行いました。

福井副会長の開会あいさつの後、日本共産党の田村智子参院議員が「『一体改革』特別委員会だけ開催され、他の委員会

「社会保障と税の一体改革」廃案へ

東京社保協独自国会行動に163人



は動く見込みはない。論戦で消費税増税は、財政赤字穴埋め、大企業減税に回されること。国民の消費税増税反対は6割を超え、マスコミの報道にも一部変化が出てくる。『子ども・子育て新システム』には自民党議員からの「廃案にする」との発言がはじめに「がんばろう！」



JR日野駅北のスーパー前で、おこなった行動には5団体、15人が参加。1時間（チラシとティッシュを約300枚配布、署名が48筆集まりました。

消費税増税・社保改悪ストップ スーパー前宣伝 署名次つきに

日野社保協は、消費税増税・社会保障改悪ストップへ主要駅などでの連続宣伝行動に取り組んでいます。5月21日夕、

動では、署名への紹介議員と賛同を求めました。結果は、笠井亮（共）・田村智子（共）議員は賛同を表明。阿久津幸彦（民）・石原伸晃（自）・海江田万里（民）・川島智太郎（民）

「民主党の中で増税反対を打ち出した。最後に「消費税増悪NO！社会保障と運動で国会を

⑦6・23集会への参加を確認して終

と激励を松義規（民）の各議員の秘書は署名を受け取り検討をする対応。また、要請の中で「増税の前にやるべきがある」「消費税増税反対、原発反対」「民主改悪に反対する意見書・制度改善の請願の提出、

新婦人、健康友の会、生活と健康を守る会、年金者組合などの代表が代わるがわるマイクで訴えると買い物客らが次々と署名。「消費税10%は困る。ぜひやめさせて」（子ども連れの主婦）「戦争で大変な苦勞をしてきた。年金カットなど年寄りいじめは許せない」（高齢の女性）など不安と怒りの声が相次ぎました。

前沢淑子東京社保協事務局長を講師に学習会も開催（5月11日）。学習を運動の力にして改悪法案の廃案へ全力をあげています。（日野社保協・橋本輝夫）

消費税大増税ノー！

新宿 消費税許すな5・16区民決起集会



新宿社保協は5月16日に「消費税大増税ノー！消費税許すな！5・16区民決起集会」を柏木公園で1000人の参加で開催しました。区民の生活が大変なときに、国は消費税増税法案を国会で押し付けようとして

と力強い挨拶を受けました。また、「み

変えていきましよう」

います。消費税増税を許さないたたかいを新宿から発信するたたか

園を一周するコースで、



が「口からみた社会保障」を講演されました。

悪反対の取り組み方針が報告されました。

岡本卓郎)



の充実を求め、署名にご協力をお願いいたします。

北区内では、1万を越える国保の短期証が発

西東京社保協は、第12回総会を5月13日に10団体55人が参加して開催しました。

第一部では、西東京社保協会長の矢野正明さん（小豆沢歯科所長）

安心して医療にかかれ、住み続けられるまちづくりのためにも消費税増税に反対し「社会保障の充実を求め、署名にご協力をお願いいたします。」

北区内では、1万を越える国保の短期証が発

西東京社保協は、第12回総会を5月13日に10団体55人が参加して開催しました。

第二部では、「社会保障と税の一体改悪」

なくせ無保険死！

王子5丁目団地総訪問行動

北区 王子5丁目団地22

に訪れたことがきっかけで、病気でも、無保険でかかりたくてもかかれないという方が、その他にもいるのではないかと。それならば全戸に訪問し情報も呼びかけようというこ

で30件以上の「気にかか

部と話し合われています。（北区社保協・森松伸治）

「口からみた社会保障」の学習も

西東京社保協が総会・学習会

西東京社保協は、第12回総会を5月13日に10団体55人が参加して開催しました。

第一部では、西東京社保協会長の矢野正明さん（小豆沢歯科所長）

第39回 東京社保学校 開催のご案内

消費税増税の狙いをズバリ解明!
皆保険・皆年金制度は国民の運動で確立—歴史に学び、闘いの力に

生活保護基準切り下げは国民生活への攻撃です

誘い合っ
て参加しまし
よう



日時 2012年7月15日(日)
午前10時開会～午後4時半(9時半開場)

会場 けんせつプラザ東京
(東京土建本部会館 JR大久保駅下車徒歩3分)

①新福祉国家VS新自由主義
対決軸として「一体改革」をどう見るか
二宮厚美氏

講演 ②権利としての社会保障の確立へ
皆保険・皆年金の歴史を踏まえて
公文昭夫氏 (年金実務センター代表)

③生存権を守るたたかいの今日的意義
朝日健二氏 (生存権裁判を支える全国連絡会副会長)

※資料代・500円(当日ご持参ください) ※昼食は各自でお願いします

第39回東京社保学校 参加申込書

2012年 月 日

申込締切は6月22日(第1次)です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	参加者氏名

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。

FAX 03-3946-6823